

平成 27 年 11 月 30 日 開会  
平成 27 年 11 月 30 日 閉会  
(臨時第 8 回)

# 大山町議会議録

(副本)

大山町議会

大山町告示第 147 号

平成 27 年第 8 回大山町議会臨時会を次のとおり招集する

平成 27 年 11 月 27 日

大山町長 森田 増範

- 1 日 時 平成 27 年 11 月 30 日（月） 午前 10 時
- 2 場 所 大山町役場議場
- 3 付議事件 1) 議案第 111 号 町有財産の売払いについて  
2) 議案第 112 号 平成 27 年度大山町一般会計補正予算（第 5 号）  
3) 議案第 113 号 平成 27 年度大山町土地取得特別会計補正予算  
(第 1 号)

---

○開会日に応招した議員

加 藤 紀 之	大 原 広 巳
大 杖 正 彦	圓 岡 伸 夫
遠 藤 幸 子	米 本 隆 記
大 森 正 治	杉 谷 洋 一
野 口 昌 作	近 藤 大 介
西 尾 寿 博	吉 原 美 智 恵
岩 井 美 保 子	岡 田 聰
西 山 富 三 郎	野 口 俊 明

---

○応招しなかった議員

なし

---

---

## 第 8 回 大 山 町 議 会 臨 時 会 議 録

平成 27 年 11 月 30 日（月曜日）

---

### 議 事 日 程

平成 27 年 11 月 30 日 午前 10 時 開会

1 開会（開議）宣告

1 議事日程の報告

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第 111 号 町有財産の売払いについて

日程第 3 議案第 112 号 平成 27 年度大山町一般会計補正予算（第 5 号）

日程第 3 議案第 113 号 平成 27 年度大山町土地取得特別会計補正予算（第 1 号）

---

### 本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

---

### 出席議員（16 名）

1 番 加 藤 紀 之	2 番 大 原 広 巳
3 番 大 杖 正 彦	4 番 遠 藤 幸 子
5 番 圓 岡 伸 夫	6 番 米 本 隆 記
7 番 大 森 正 治	8 番 杉 谷 洋 一
9 番 野 口 昌 作	10 番 近 藤 大 介
11 番 西 尾 寿 博	12 番 吉 原 美 智 恵
13 番 岩 井 美 保 子	14 番 岡 田 聰
15 番 西 山 富 三 郎	16 番 野 口 俊 明

---

### 欠席議員（なし）

---

### 欠員（なし）

---

### 事務局出席職員職氏名

局長 …………… 手 島 千 津 夫                      書記 …………… 提 嶋 護 大

---

説明のため出席した者の職氏名

町長	森田増範	副町長	小西正記
総務課長	酒嶋宏	地籍調査課長	白石貴和
企画情報課長	戸野隆弘	農林水産課長	山下一郎
観光商工課長	持田隆昌		

---

午前 10 時開会

○局長（手島 千津夫君） 互礼を行います。一同起立。礼。着席。

---

開会・開議・議事日程

○議長（野口 俊明君） おはようございます。ただいまの出席議員は、16 人です。定足数に達していますので、平成 27 年第 8 回大山町議会臨時会を開会します。これから本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

---

日程第 1 会議録署名議員の指名について

○議長（野口 俊明君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第 125 条の規定によって、5 番 遠藤幸子君、6 番 米本隆記君を指名します。

---

日程第 2 会期の決定について

○議長（野口 俊明君） 日程第 2、会期の決定についてを議題にします。お諮りします。本臨時会の会期は、本日 1 日限りにしたいと思います。ご異議ありませんか。  
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口 俊明君） 異議なしと認めます。したがって、会期は本日 1 日限りに決定しました。

---

日程第 3 議案第 111 号

○議長（野口 俊明君） 日程第 3、議案第 111 号 町有財産の売払いについてを議題とします。提案理由の説明を求めます。町長 森田増範君。

○町長（森田 増範君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 森田町長。

○町長（森田 増範君） みなさんおはようございます。ご上程いただきました議案第 111 号 町有財産の売払いにつきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

大山インターチェンジ工業団地内にあります未売却の町有地、この区画の一部を売却をするために、地方自治法第96条第6項により議会の議決を求めるものでございます。

売払いをしたい土地の所在及び表示は、所子字中河原 855 番地 22、雑種地ほか7筆、合計 1,353.37 ㎡であります。売払い価格は 884 万 6,442 円、また売り払いの相手方は、カナディアンソーラー株式会社のグループ企業であります「CSみえ・やまだ合同会社」職務執行者 ジェフ・ロイでございます。

以上で提案理由の説明を終わります。よろしくお願いを申し上げます。

○議長（野口 俊明君） これから質疑を行います。質疑はありますか。

○議員（11 番 西尾 寿博君） 議長 11 番。

○議長（野口 俊明君） 11 番、西尾寿博君。

○議員（11 番 西尾 寿博君） えーとですね、先ほど全協のときにですね説明を聞いたんですが、変電所がここに建設されるということで聞きましたが、その他に本体としてですね、46 万㎡くらいの土地を所有されて、総工費で 58 億くらいの太陽光発電がやってくるというような説明を聞かせていただきました。まことに大きなものであるということは想像できるわけですが、じゃあ一体どんなものだろうかというようなことをまず 1 点聞きたいなと。まあ工業団地の一角にこの間 1 メガができたわけで、その辺の比較だとか、そしてですね、まあこの土地の場所がですね、清水原ということで、今まで長年いろんなものを作ったんですがなかなかできなかった、ブルーベリーなんかも出来が悪いということで、客土をしたり、いろいろした経過がございます。それがですね、今度こうやって生まれ変わることだろうかなと思います。そしてもう 1 点は、今度こういった会社がやってくるにあたって、固定資産とか、町にも大きな恩恵があるのではないか、あるいは管理、管理と言っても除草くらいなのかパネルの掃除なのかよくわかりませんが、いずれにしても大変面白い事業がこれから始まってくるという予感がするわけですが、そのあたりについてももう少し詳しく説明をお願いしたら、町民の方ももう少し喜んでいただけるんじゃないかなというふうに思います。

○町長（森田 増範君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 森田町長。

○町長（森田 増範君） たくさんの質問をいただきました。私の方からは所在というところについてだけ、述べさせていただいて、あと他の方から、担当の方から述べさせていただきますけれども、特に広い面積というご指摘をいただきました。ご案内のように場所は 2 カ所あります。清水原という場所とそれから前畑という場所と 2 つあります。まあ、清水原におきましては農地として活用していただくなかで、高齢化等もあり、議員ご指摘のような展開のなかで、なかなか作付けに至っていないというところでありましたけれども、今回こうしたご提案をいただいて、そうした土地が有効に活用できるも

のということで非常に期待をしているところであります。

また、前畑につきましても、赤線敷きのエリアの中にあるところでありまして、これも原野、雑種地というようなところでもあります。有効に活用していただくということで非常に意義のあることと思っており、町としてもしっかりとできることの支援をしていきたいなと思っております。その他について担当よりお答えをさせていただきます。

○企画情報課長（戸野 隆弘君） 議長、企画情報課長。

○議長（野口 俊明君） 戸野企画情報課長。

○企画情報課長（戸野 隆弘君） 失礼いたします。まずこの太陽光発電事業の規模、大変大きなものであるということで、どのようなものだろうかというご質問でございました。民有地を活用しての事業ということになりますけれども、清水原につきましては21メガの太陽光、また前畑につきましては6メガ余りの太陽光ということでございます。町内では、町有地を活用して押平地区に広大なものがございますけれども、あそこが1メガですので、今回はそれに比較していただければ、相当大きいということでイメージをしていただいたらというふうに思うところでございます。民有地を、メイン民有地で20年間の貸借でございますので、それぞれ関係の（「議長。ちょっと議案と関係ないのでは。」「進行」という声あり。）よろしいでしょうか。関係のみなさん、関係の方について土地の賃料が20年間入るということがございます。町におきましては、固定資産税はということでございましたけれども、固定資産税がパネル分ということで、1億3,575万円ということで見込んでおるところでございます。

それとあの管理のことにつきましてですけれども、これはまあ、民有地ということでございますので、町の方には特にどのような形でということでの情報はないところでございます。以上でございます。

○議長（野口 俊明君） いいですか。他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口 俊明君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口 俊明君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第111号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（野口 俊明君） 起立多数です。したがって、議案第111号は原案のとおり可決されました。

----- . ----- . -----

○議長（野口 俊明君） 日程第 4、議案第 112 号 平成 27 年度大山町一般会計補正予算（第 5 号）を議題とします。提案理由の説明を求めます。町長 森田増範君。

○町長（森田 増範君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 森田町長。

○町長（森田 増範君） 議案第 112 号 平成 27 年度大山町一般会計補正予算（第 5 号）につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

本案は、大山第 2 分団消防車庫移設工事の追加など、既定の事業内容の追加の必要が出てきたことにより、歳入歳出予算の過不足を調整するため既定予算の補正を提案をし、本議会の議決を求めるものでございます。この補正予算第 5 号は、既定の歳入歳出予算の総額に 868 万 8,000 円を追加をし、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 112 億 5,613 万円とするものであります。

次に、第 1 表を歳入から各款をおって主なものにつきましてご説明を申し上げます。

第 65 款財産収入は 10 万円の追加で、第 5 項財産運用収入の財産貸付収入で町有建物の貸付収入を計上いたしております。第 80 款繰越金は 773 万 9,000 円を追加いたしております。第 85 款諸収入は 84 万 9,000 円の追加で、第 25 項雑入の雑入で消防団員退職報償金を計上いたしているところであります。

次に歳出につきまして、ご説明を申し上げます。

第 10 款総務費は、276 万 2,000 円の追加で、第 5 項総務管理費の企画費で地域おこし協力隊募集経費 96 万 2,000 円の新規の計上、総務施設管理費でふるさとフォーラムなかやま休憩所改装費 180 万円の追加であります。第 45 款消防費は、592 万 6,000 円の追加で、第 5 項消防費の非常備消防費で消防団員退職報償金 84 万 9,000 円、消防施設費で大山第 2 分団消防車庫移設工事 370 万円、所子集落の消防施設整備費補助金 137 万 7,000 円を追加いたしております。

次に予算書 3 ページの第 2 表債務負担行為補正であります。地域おこし協力隊 4 名の平成 28 年度から 30 年度の経費計 4,500 万円を追加いたしているところであります。

以上で提案理由の説明を終わります。よろしくお願いを申し上げます。

○議長（野口 俊明君） これから質疑を行います。質疑はありますか。

○議員（1 番 加藤 紀之君） 議長、1 番。

○議長（野口 俊明君） 1 番 加藤紀之君。

○議員（1 番 加藤 紀之君） 地域おこし協力隊の募集についてですけれども、それぞれどのようなミッションでの募集をされるのか伺いたいと思います。

○町長（森田 増範君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 森田町長。

○町長（森田 増範君） 4 名ということでご提案をさせていただいているところであります。まず 1 名ということにつきましては、観光部門であります。特に観光部門のなか

で、今2人の地域おこし協力隊に来ていただいて積極的な活動をしていただいているところでもあります。大山のほうでのツアーデスクの活動にも関わっていただいたり、その主力としても将来頑張ってくださいということ想定しているところでもありますけれども、現在ツアーデスクの方でもメンバーがおられるわけでもありますけれども、年齢的に高齢化しておられるという状況があります。そういった状況を踏まえてもう1人若返りということも含めて、この度地域おこし協力隊のお願いを全国から優秀な方を募集してみたいということで提案をさせていただいております。

それからもう1点、道の駅駅長の候補者としての募集をかけたいと考えております。道の駅公社のほうで運営をいたしております。ハローワーク等を通じてこれまでも募集をしたりしているところでもありますけれども、なかなか十分な適材の方々に巡り合えていないという現状もあります。今後の公社の運営、あるいは大きな柱であります、道の駅の駅長、そうしたことを想定をして、地域おこし協力隊の活動として求めていきたいという具合に考えているところでもあります。

そして、あと2人につきましては、現在も農業部門で活動をしていただいている方4名あるわけでもありますけれども、この1年間、この4月からの活動をふまえ、マイスター、アグリマイスターの方々とも意見交換をさせていただき、さらに来年度2名ほどの農業部門での募集をかけてはということから、提案をさせていただいているところでもあります。よろしくお願いを申し上げます。

○議長（野口 俊明君） いいですか。他に質疑はありませんか。

○議員（6番 米本 隆記君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 6番、米本隆記君。

○議員（6番 米本 隆記君） 私もちよっと地域おこし協力隊についてお聞きしたいんですが、実は大山観光局にはいままだ2名増員がしてあるわけですけども、これ3人目ですか、ツアーデスクの方に配置されるということでもあります。まずもって大山観光局のほうのツアーデスクのほうですね、それから今2名が常駐してますのもツアーといいますか、大山寺をなんといいますか観光案内ですか、として2名が配置してあるというふうに思っております。つまり、わたしちよっとお聞きしたいんですけども、大山観光局にこれだけの人員を配置するというのは、1300年祭が開山1300年があるので、それによって人員が増員が必要なのか。それからもう1点、大山観光局のマンパワーか能力がないのか、そういったところはどういうふうに判断しておられるのかということをお聞きしたいと思います。

それからですね、もう1点、道の駅の駅長候補の件についてですが、実は、過去何度か駅長候補の方をずっと募集した経緯があったというふうに思っております。ですが、なかなかそういった方が定着しないで、1年か1年半で辞めて代えられるという経緯があったように私は記憶しております。私も中の方におりましてその現状もいろいろ話を



聞いておりますが、この道の駅の候補者の方にはこういった役割を担ってもらおうということでしょうか。公社の仕事の一部、一端としてしていただくのか、それとも新しく道の駅を立て直すということでやられるのか、こういったお考えでされるのかお聞きしたいと思います。

○町長（森田 増範君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 森田町長。

○町長（森田 増範君） まず観光部門の関係でありますけども、議員ご承知だと思いますけども、観光部門の取り組みについて、1年あるいは2年ですぐそれが成就できる、強力な戦力になるということではないと思っております。地域おこし協力隊3年間あるわけでありまして、こうした地域おこし協力隊の3年間の活動をまずベースにしながらか、ツアーデスク、いわゆる事業、そういったところにつながっていくということでありまかす。この度のもう一人の募集ということでありまかすけども、そうしたことをまず視点に置きながら、冒頭申し上げましたように、メンバーがおられますけども、年配の方々が主となっております。ひとつは若返りということを進めていくということで、その募集をして戦力になっていただくのに、やはり2年3年かかっていくだろうということの想定の中で今回もう一人提案させていただいているところであります。

それから道の駅につきましても議員ご承知、ご指摘をいただいたように、これまでそうした経過があります。なかなか定着をできてないという状況があります。そうしたことをふまえて、今地域おこし協力隊、大山町にいろいろな部門で活動をしていただいております。道の駅の駅長ということを想定、候補者として想定をしながら、そうした方々、熱意のある方々、本当に定着をしていただけるであろう方に出会いたいなど、そういう方に全国にお声を掛けさせていただいて、求めたいなという思いで、今回提案をさせていただいているところであります。

○議員（10番 近藤 大介君） はい、議長10番。

○議長（野口 俊明君） いいですか。

○議員（6番 米本 隆記君） はい、了解です。

○議長（野口 俊明君） はい、10番、近藤大介君。

○議員（10番 近藤 大介君） 引き続き地域おこし協力隊の関係で、道の駅駅長候補者の方の分についてももう少しお尋ねしたいと思います。先ほどまあ米本議員の質問に答える形です、町長答弁されたわけですが、道の駅の関係スタッフ、まあここ数年いろいろと入れ替わり立ち替わりがあつてあります。道の駅ばかりではなくて、それ以外です、加工所のスタッフであつたり、それ以外のスタッフも公社の場合は非常に入れ替わりが激しいわけですが、それに関して、今回はなんとか定着していただける人というような話でしたが、まあうがった言い方をすると、定着できなかったこれまで

のスタッフにちょっと問題があったかのようなふうにも受け取れるわけですが、そうではなくてですね、これだけ人の入れ替わりが激しいということは、やはり公社の内部に少なからず問題があるのではないかというふうには私は見ているわけですが、若い優秀な方にせっかく協力隊として来てもらっても、公社の内部改革がしっかり進まないで定着にはならないのではないかということをお大変心配しております。そういった部分で公社の改革について、どのように町長として見ておられるのかのご説明をお願いいたします。

○町長（森田 増範君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 森田町長。

○町長（森田 増範君） 公社の内容ということについてですが、辞めていかれるという方については、それぞれの思いや、それぞれの経験、あるいは自分にとっての将来考えられる中で退職されるということであろうと思っております。主力として、柱として頑張っている公社の職員もたくさんおられるわけでありまして。そうしたことのなかであります。今回特にこれまでの経過の中で、公社の道の駅の候補者としての募集をかけていきたいということで提案をさせていただいておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

○議員（10番 近藤 大介君） はい、議長。

○議長（野口 俊明君） 近藤大介君。

○議員（10番 近藤 大介君） あの今の話では私の質問にまったく答えになっていないと思うんですが、私が聞いておりますのは公社の組織の改革の必要性についてですね、町長は公社の理事長でもあるわけですが、行政サイド、その町長との立場としてですね、公社の組織の改革の必要性を感じておられるか、おられないか。町長として公社の内部改革を求めようお考えがあるのか、ないのか。私は現状の公社の組織の状況でですね、外からこられる有為な若者をですね、職場として適当ではないようなふうには私は見ておるわけです。町長のお考えをもう一度ご説明をお願いします。

○町長（森田 増範君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 森田町長。

○町長（森田 増範君） 近藤議員の見方は見方として承りたいと思います。組織の改革ということであれば、それはまた役員会の中でいろいろと協議をしていくことであると認識をいたしております。

○議員（10番 近藤 大介君） はい、議長。

○議長（野口 俊明君） 近藤大介君。

○議員（10番 近藤 大介君） ですからね、答えになってないんですよ。役員会は役員会でされると思うんですが、町の立場としてそういう改革を求めると必要だと考えておられるか、おられないか。ね、公社は公社で頑張っていると、今以上に改革を

求める必要がないというふうにお考えなら、そのままおっしゃっていただければ結構です。町の姿勢を説明してください。

○町長（森田 増範君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 森田町長。

○町長（森田 増範君） 町としては現在も公社のほうに補助金を出しているところであり、そうした視点のなかで役員会のほうにも伝え、その取り組みを進めていただいているところでもあります。

○議長（野口 俊明君） 他に質疑ありませんか。

○議員（12番 吉原 美智恵君） 議長、12番。

○議長（野口 俊明君） 12番 吉原美智恵君。

○議員（12番 吉原 美智恵君） 引き続き、このことについて疑問を呈します。ひとつはですね、協力隊の募集事業の中身ですけれども、100万近く使うわけであり、ですので、今書いてあります農業人フェアなどの参加、雑誌、ホームページの掲載だけでは、その中身がちょっとわかりにくいです。たぶんとても大事な部門で観光部門も道の駅も大変大事な部門ですので、期待されることはよくわかりませんが、明確な募集要項があって、そしてまた人員を人選するときにはですね、やはりお金を使ってでも現地に赴いてその候補者の背景を探るとか、そういったことをやっていかないと、これまでいろいろ来ていただいて、なかなかうまくいかなかった経緯もあると思いますので、その辺の募集事業についての詳しい内容を教えてください。

○町長（森田 増範君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 森田町長。

○町長（森田 増範君） 担当のほうから述べさせていただきますけれども、そうした議員の思いを含めて、27年度にもたくさんの地域おこし協力隊について活動をしていただいております。これまでやってきましたことをベースにして展開していくということでもあります。担当の方から答えさせていただきます。

○企画情報課長（戸野 隆弘君） 議長、企画情報課長。

○議長（野口 俊明君） 戸野企画情報課長。

○企画情報課長（戸野 隆弘君） 失礼いたします。昨年度も同じような時期に地域おこし協力隊を募集をいたしました。観光2名、農業の関係ですけれども定住部門4名、合計6名を採用しております。昨年の取り組みは成功したと思っております。今回も予算にあげておりますけれども、農業人フェア等でのPR、あるいは雑誌の掲載、そしてとくに効果があったのがホームページの掲載でございました。この結果、大山町の募集につきまして、39名の方が仮エントリーをしていただきまして、そして、なかなかその方々に直接事前に来ていただいたり、あるいは直接その方のところに行って背景を探るといったことは難しいわけですけれども、それぞれの方にネット上でスカイプという面談ができ

るような手法がございまして、それを積極的に活用して、お互いに事前のマッチングにミスがあってはいけないということで、こちらの方の意図、当然あの募集要項等で具体的な業務の中身ですとか期待するものをお示しはしているわけですが、そういった方とそれについて事前にですね、先ほど言いましたような手法ですべての方とスカイプ上の面談をしております。その結果、それではやっぱりやめようというかたもございまして、それだったらぜひ大山町のこれに正式に応募したいということでございまして、正式なエントリーを15名いただきました。それらの方々の中から、最終的に6名を選考したということでございます。昨年度、今言いましたような応募の実績あるいはその途中の過程でのお互いのミスマッチがないような方法をとった、このやり方が今回も踏襲して行くべきだろうということでございまして、東京、大阪での説明会、説明会といえますか、そういう形でのイベント、フェア等がございまして、それに参加する形で行うことと、それとホームページでは、昨年も行いましたけども、特に効果のあるようなホームページを今年は2つのサイトを使おうということで予定をしております。雑誌につきましても2誌予定をしております。こういったことに興味を持たれる方が読んでおられる、あるいは見ておられるそういったサイト、媒体を積極的に採用するというところで考えておるところでございます。

○議員（12番 吉原 美智恵君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 吉原美智恵君。

○議員（12番 吉原 美智恵君） たしかに今おられる協力隊員さんはみなさん優秀で、成功であると思います。観光部門も今2名が大活躍して、ツーリズム協議会もいつも出てきて、行動も実行もされています。ただ私が申し上げたいのは、今回の募集についての観光も道の駅の駅長さんもただの協力隊員というよりは、またかなり重要な役割を担うのではないかと、そういうふうに思っているわけで、これまでどおりでいいのかということをおもったわけでありまして。今回はいい人に恵まれた。みなさん本当によくやられますけれども、そうはいっても観光部門は観光局の中に入るような立場になります。ちょっと協力隊員としては立場がまたちょっと重要になってくるのではないかとと思うので、それがまた道の駅の駅長候補、これも普通の協力隊員で本当にできるのかどうか、その辺について、ですので協力隊員についての募集についても少しまた配慮があるんじゃないかというふうに考えたわけでありまして。いかがでしょうか。

○町長（森田 増範君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 森田町長。

○町長（森田 増範君） 先ほど担当より述べさせていただきましたように今年もそういった形で進めたいと思っておりますけども、たくさんの方々に募集をしていただく、ただその中からでもいろいろと履歴を見させていただいたり、いろいろな手法で相手とのやりとりをしたり、その中から絞り込んで面接にのぞんでもらうというところでありま

す。恵まれたということで表現されましたけれども、もちろん恵まれた方に応募していただいたということで、優秀な方に応募していただいたということでありますけれども、やはりその方々にしっかりと面談をして、意向を聞いて、こちらの思いを伝えて、そこで限られた方を選ばせていただく。そして今があるということだと思っておりますので、議員ご指摘のご心配の点についても重々われわれも思いを持ちながら、しっかりと対応していきたいという具合に思っております。よろしく願いをいたします。

○議長（野口 俊明君） いいですか。他に質疑ありませんか。

○議員（4番 圓岡 伸夫君） 議長、4番。

○議長（野口 俊明君） 4番、圓岡伸夫君。

○議員（4番 圓岡 伸夫君） 引き続き地域おこし協力隊についてお聞きします。特に道の駅の店長候補についてですけれども、今現在どうなっているのかということをもまず1点です。それからもうひとつ、この4名を募集をされるわけですけれども、やはりこう見た時に道の駅の店長候補というのは、この責任からいって1段も2段も上ではないかというふうに感じるわけですけれども、それが同じ地域おこし協力隊としての報酬とまいましようか、そういうものではたしていいのかどうか。特に店長候補ともなれば、当然ある程度の成果を求められるものだろうと思っておりますけれども、そういったなかでいくらか努力しても同じであればやはりよくない。今野球で契約進みつつありますけれども、やはり出来高払いみたいなようなものも考えるべきではないかなというふうにも思うわけですけれども、そのあたりどうなのか、お聞きしたいと思っております。

○町長（森田 増範君） 議長。

○議長（野口 俊明君） 森田町長。

○町長（森田 増範君） 担当のほうで検討しているかと思っておりますので、お答えをさせていただきます。

○観光商工課長（持田 隆昌君） 議長、観光商工課長。

○議長（野口 俊明君） 持田観光商工課長。

○観光商工課長（持田 隆昌君） ただいまの圓岡議員の質問にお答えいたします。店長候補の方を、道の駅の店長候補の方を地域おこし協力隊として募集するわけでございますけれども、1年間は地域おこし協力隊としての活動を最低でもしていただきたいと思っております。その中でもし、駅長候補として適格ということであれば、時機を見て、正式な採用、地域おこし協力隊としての身分をやめて、正式な採用ということも視野に入ることがあるのではないかと思います。正式な採用となれば、それに見合った給料ということも当然今後考えられていくと思っておりますので、その辺は柔軟に対応していくことが必要なのかなということも考えているところです。以上です。

○議長（野口 俊明君） いいですか。

○議員（4番 圓岡 伸夫君） 議長、4番。

- 議長（野口 俊明君） 圓岡伸夫君。
- 議員（4番 圓岡 伸夫君） それについては了解しました。はじめに今現在の道の駅の店長というのはどうなっているのかというのを聞いたんですけれども、それについて改めて答弁をお願いしたいと思います。
- 町長（森田 増範君） 議長。
- 議長（野口 俊明君） 森田町長。
- 町長（森田 増範君） 長という存在は、今、形の中では私が駅長というところになっておりますけれども、実働として活動している方はなかなかないというところがあります。そうした柱を作っていかなければならないという具合に思っているところであります。
- 議長（野口 俊明君） 他に質疑ありませんか。  
〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕
- 議長（野口 俊明君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。  
これから討論を行います。討論はありませんか。  
〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕
- 議長（野口 俊明君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。  
これから議案第 112 号を採決します。お諮りします。  
本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。  
〔 賛成者起立 〕
- 議長（野口 俊明君） 起立多数です。したがって、議案第 112 号は原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第 5 議案第 113 号

- 議長（野口 俊明君） 日程第 5、議案第 113 号 平成 27 年度大山町土地取得特別会計補正予算（第 1 号）を議題とします。提案理由の説明を求めます。町長 森田増範君。
- 町長（森田 増範君） 議長。
- 議長（野口 俊明君） 森田町長。
- 町長（森田 増範君） 議案第 113 号 平成 27 年度大山町土地取得特別会計補正予算（第 1 号）につきまして提案理由のご説明を申し上げます。  
本案は、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ 884 万 7,000 円を追加をし、歳入歳出の総額をそれぞれ 916 万 5,000 円とするものであります。  
はじめに、歳入から申し上げます。  
第 5 款財産収入を 884 万 7,000 円の増額は、大山町インターチェンジ工業団地土地売払収入によるものであります。

次に歳出について説明します。

第 10 款諸支出金 884 万 7,000 円の増額は、土地開発基金繰出金であります。

以上で提案理由の説明を終わります。よろしくお願いを申し上げます。

○議長（野口 俊明君） これから質疑を行います。質疑はありませんか。

〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（野口 俊明君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔 「なし」と呼ぶ者あり 〕

○議長（野口 俊明君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第 113 号を採決します。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔 賛成者起立 〕

○議長（野口 俊明君） 起立多数です。したがって、議案第 113 号は原案のとおり可決  
されました。

---

#### 閉会宣告

○議長（野口 俊明君） これで本臨時会の会議に付された事件は全部終了しました。会  
議を閉じます。

平成 27 年第 8 回大山町議会臨時会を閉会します。

---

○局長（手島 千津夫君） 互礼を行います。一同起立、礼。

---

午前 10 時 41 分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する

議 長 野口 俊明

署名議員 遠藤 幸子

署名議員 米本 隆記